

神戸マラソンフレンドシップバンク公募団体紹介

特定非営利法人 CODE海外災害援助市民センター

<http://www.code-jp.org/>

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災をきっかけに設立されたNGOです。
震災の折に世界70カ国もの国々がKOBEOを支援。世界へのお礼と「困ったときはお互い様」の想いから
同年5月に発生したロシア・サハリン地震の被災地へKOBEOの避難所で使っていた毛布など
救援物資を被災地に送ったのがCODEの支援の始まりです。
1995年より阪神・淡路大震災地元NGO連絡会議として活動、
2002年にNPO法人CODE海外災害援助市民センターとしての活動をスタートしました。
「最後のひとりまで」の理念を持って、世界中の被災地の長い目で見た復興を目指して活動しています。
小規模のNGOではありますが、現地の方々に寄り添った支援を続けています。

主な活動内容・実績

1995年の阪神・淡路大震災以降、22年間で35の国と地域で58回の救援活動を実施してきました。
KOBEOから世界へ、支え合いの輪をつなげています。



▲2015年4月～ ネパール地震(ネパール)
2015年4月25日に発生したネパール地震では、震災直後に現地派遣の後、グデル村の支援を行っています。間もなく雨季を迎える村にテントシートを送るCODE 3000プロジェクトを実施しました。また、現地で手に入れることができる資材を用いた耐震住宅再建プロジェクトを実施。モデルハウス建設で耐震を学んだ大工らによって26軒の住宅が再建されました。今後は周りの村への耐震技術の普及やグデル村カルチャーツアーなど村の支援を継続していきます。



▲2008年5月～ 四川大地震(中国)
2008年5月12日に発生した四川大地震で被災した光明村の支援を行っています。具体的にはボランティアによる震災直後の瓦礫の片づけや日々の仕事のお手伝い、メインプロジェクトとなった伝統木造建築の光明村老年活動センター(コミュニティセンター)建設を行いました。現在、住民主体でセンターを農家兼(アグリツーリズム)レストランとして運営しており、新たな観光開発を模索しています。

◆CODE未来基金
2015年、若手NGOスタッフ、NGOスタッフになりたい方をサポートするための基金「CODE未来基金」を立ち上げました。現在NGOに関わる方だけではなく、まだNGOを知らない若者に関心を向けてもらえる機会をつくっています。この未来基金はインターンシップ、海外のフィールドワークなど若者自身が企画するプログラムを募集しており、今年8月には5名の学生がフィリピンの被災地を訪れ、国際協力、被災地支援に触れました。

神戸マラソン参加者へのメッセージ

**チャリティ活動へのご協力ありがとうございます。
これからもKOBEOの、日本の想いを世界に届けていきます。**